

心あやに折らば折る  
心あやに折らば折る  
心あやに折らば折る

初霜のおもいとはなる  
初霜のおもいとはなる  
初霜のおもいとはなる

白菊の花  
白菊の花  
白菊の花

中一と三

無造作に折ろうとすれば、果たして折れるだろうか。一面に降りた初霜の白さに、いずれが霜か白菊の花か見分けもつかないほどなのに。  
(百人一首 二九番 凡河内躬恒)